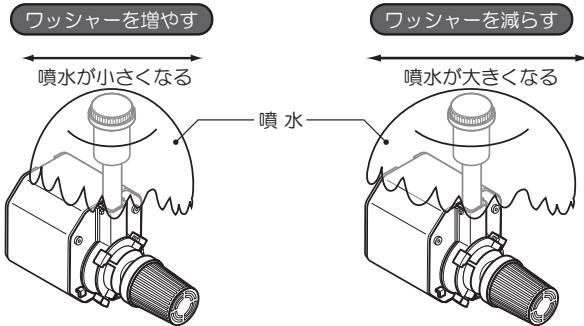
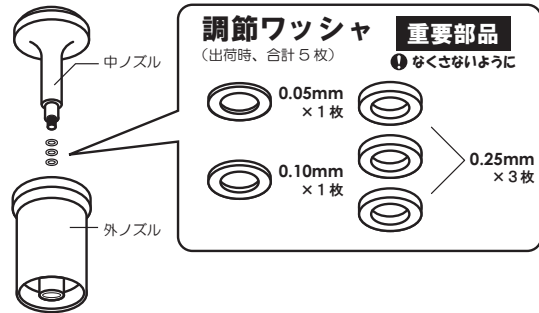


B-100+WV ノズル噴水の大きさ調整

1. ワッシャーの厚みで調節

調整ワッシャーを減らすとベルの直径は大きくなります。お客様のご都合に合わせてワッシャーを加減してください。※ワッシャーは小さくさないように注意して取り扱ってください。

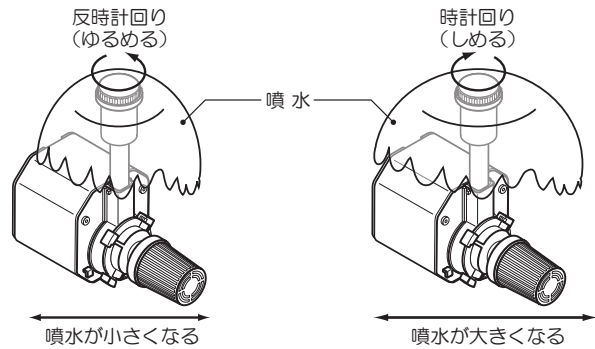


2. ノズルのトップで調整 (微調整)

中ノズルを回すと噴水の大きさを変えることができます。

※中ノズルをゆるめた状態で運転を続けると、中ノズルが水流で自然にゆるむ場合がありますのでご注意ください。

※基本的な調整はワッシャーの厚み調整で行い、ご使用を続けているうちに噴水の大きさが変わる場合はフィルター・ポンプ内部・水器の清掃を行きましょう。



【ご注意】 運転開始時の水滴飛散防止

運転開始時、周囲に水滴が飛散することがあります。運転開始時には必ず事前に中ノズルを約1回転ゆるめて噴水を小さくした状態で電源を入れてください。運転開始後は中ノズルをしっかりしめて下さい。

こんなときには

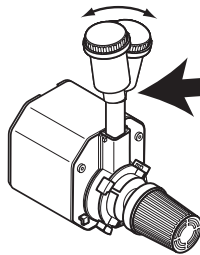
噴水が片寄る

ノズル本体とホースの取り付けの部分が曲がっていないか確認してみてください。

かたむいていないか器やポンプを確認し、ノズルが垂直になるようにしてください。

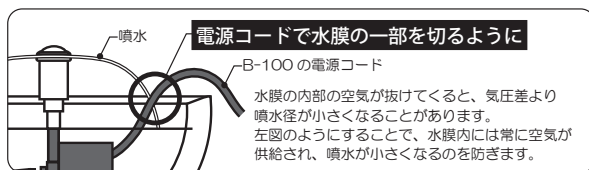
噴水が破れ傘状になる

- 風が当たる場所
→ 風が当たらない場所に置いてください。
- 水中に含まれるゴミをポンプが吸い込みノズル出水口に挟まった場合
→ 中ノズルを外し、掃除・点検してください



噴水がすぼまり大きさが戻らない

噴水の大きさを変え元に戻す際に発生することがあります。これは噴水の水膜内部の気圧差によるもので、この場合は噴水に指を触れ中に空気を入れるようにすると元に戻ります。



ご注意とお願い

■ 始業点検事項 ■ 毎日一度始業時に点検してください。

1. 水位は十分か

水位が低下したまま運転し水切れをおこすとポンプの焼きつく場合があります。また水位が低下すると噴水径が小さくなる場合があります。水中ポンプは7cm以上水没させて下さい。

2. 中ノズルがゆるんでいないか

中ノズルをゆるんだ状態で運転を続けると、水圧でノズルがさらにゆるみはずれ周囲に水滴が飛散する可能性があります。

3. 噴水・ポンプの状態

噴水の径が小さくなっている場合は、水位の低下、フィルターの目詰まり、ノズル内の異物の混入などが考えられます。また異常な音や振動がある場合はただちに電源を切って点検してください。

■ お手入れ ■ 定期的にお手入れをしてください。

1. お掃除

水中ポンプ内部、水、シンク等の容器は月1回程度を目安に定期的に掃除してください。(※作業は必ず電源プラグを抜いて行ってください)

2. 水の交換

2週間に1回を目安に水を交換してください。

3. 長期間使用しない場合は…

電源プラグを抜き、各部品をきれいに清掃後、水をよく拭き取り十分に陰干し後保管してください。(保管場所は高温多湿の場所を避けて)

